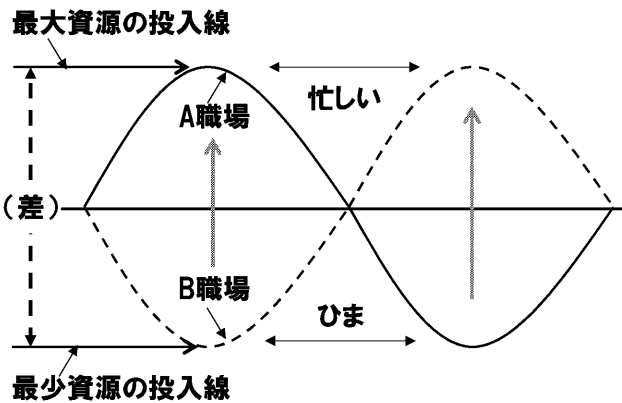


業務プロセスの可視化で生産性アップ! 管理・間接部門の改善必勝法」……………②

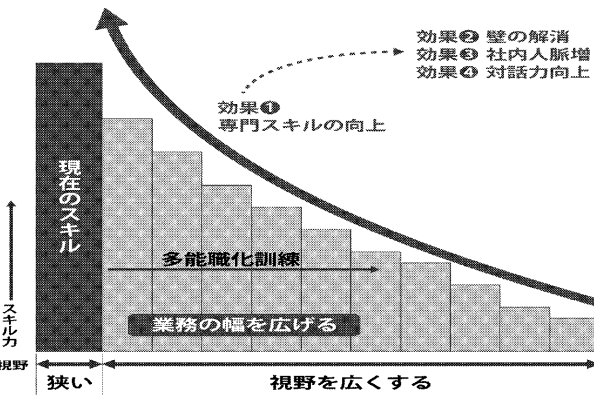
業務の偏りは1日、週間、月間、年間の単位で発生



OJT(実務訓練)など
業務の多能化により応
援体制を構築、全体の
最適化を図ります。

視野を広げてスキルと専門性を高める

実務の専門スキル向上策



という発生時点処理を
行っていくと、ドラッ
カーは「2、3倍の仕
事ができる」と評価し
てくれています。これ
から話すチャート方式
では、管理や情報の流
れが一通貫で分かる
仕組みとなっております。

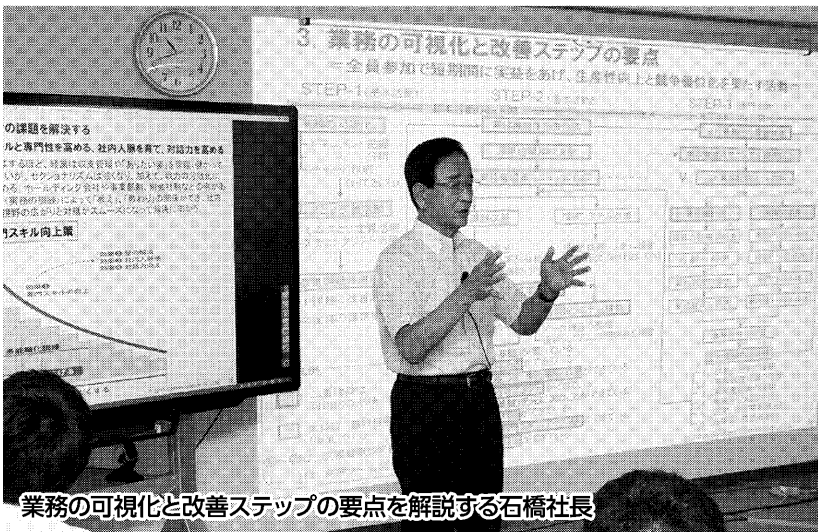
業務プロセスを文字・時間・図で可視化する

基本的にこれからの
話には部長・課長さんは
裏方になって、「部課長
さんが下手なら、社員
が頑張ってる」という
演出が大切です。一緒
HIT法をやると、若
い人たちはゲーム感覚
で行い改善や意見を出
してきます。

数時間も研修すればで
きることで、社
員の方によって貰いま
す。そして管理者であ
る皆さんは、HIT・3
sという統合ツールで
体系を作成、全体把握
を行っています。

モノづくりの現場で
は、ラインの速さと機
械の性能で能率・生産
性・品質が決定します。
ホワイトカラーの場合
は、皆さんの頭に情報
が蓄積されています
が、その情報がオープ
ン化されていません。
業務プロセスを可視化
するには、文字・時間・
図で表記します。

人間は不完全な生き
物です。仕事を30分
続ければ、一息が必要と
なります。また、ミスな
ども発生します。その
際に前任者は仮に10分
で行っていることが、後
任が20分必要だとしま
す。その差を年間目標
や賞与に結び付けるこ
とで、改善などの競争
原理も発生し、管理者
が楽で担当者にも納得
感のある管理となりま
す。「この手法は機能
的に正しく処理時間の
比較ができる」とド
ラッカーは評価してく
れています。



業務の可視化と改善ステップの要点を解説する石橋社長

最後にHIT法を
使った業務改善の事例
をご紹介しますと思
います。その会社は大
自動車部品のY社とい
う会社で、北米の工場
でこの仕組みを導入さ
れました。日本からも

従来手法とHIT手法活用でのシステム導入比較

当社内比較	
<導入期間>	<導入費用>
従来のシステム導入	従来のシステム導入
<ul style="list-style-type: none"> × ユーザーの依頼(企画提案) × ユーザーヒアリング △ 業務分析要件定義 × システム設計 × 製造テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 労務費 システム
HITを活用したシステム導入	HITを活用したシステム導入
<ul style="list-style-type: none"> × HITで分析要件定義 × システム検証・適応 × 実装テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 労務費 システム
導入期間 1/3化	導入費用 1/3化

